

令和5年度
事業報告書

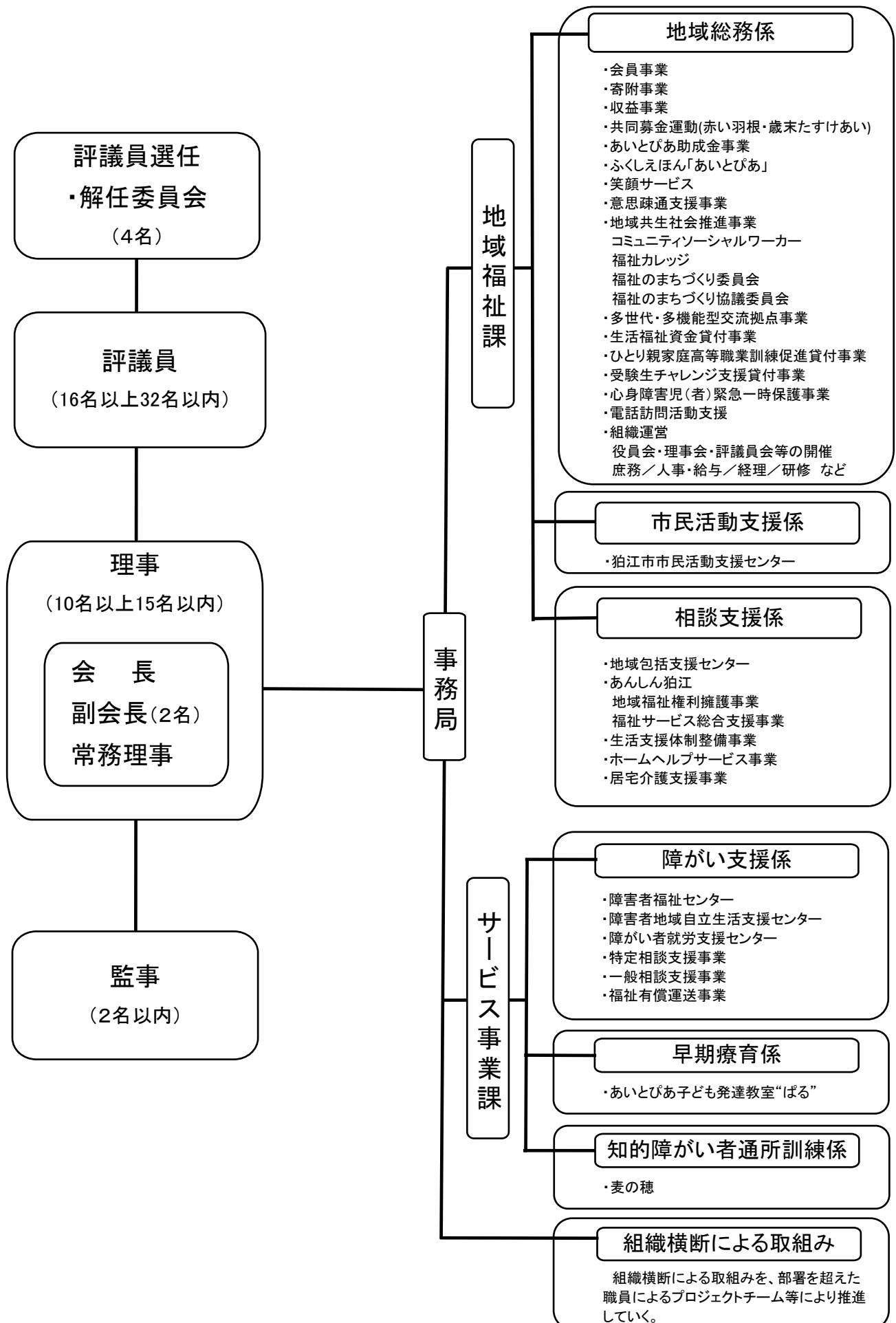
社会福祉法人 狛江市社会福祉協議会

目次

■令和5年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会組織図	1
■令和5年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告	
総括	2
(新規事業)	
1 障がい者を対象とした一般相談支援事業の指定を受けます	3
2 認知症の人を対象にしたチームオレンジを実施します	3
(重点事業)	
多世代・多機能型交流拠点の機能を活かした地域福祉活動の推進	3
■令和5年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業実施報告	
(地域福祉課地域総務係)	
会員事業	5
寄附事業	5
収益事業	5
共同募金運動	5
あいとびあ助成金事業	6
ふくしえほん「あいとびあ」	6
笑顔サービス	6
意思疎通支援事業	7
地域共生社会推進事業	9
多世代・多機能型交流拠点事業	9
生活福祉資金貸付事業	9
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業	10
受験生チャレンジ支援貸付事業	10
電話訪問活動支援	10
心身障害児（者）緊急一時保護事業	11
理事会等の開催	11
情報発信	11
労働安全衛生関係	11
(地域福祉課市民活動支援係)	
市民活動支援センターこまえくぼ1234	12
(地域福祉課相談支援係)	
地域包括支援センター	15
あんしん狛江	16
生活支援体制整備事業	16
ホームヘルプサービス事業	17
居宅介護支援事業	17
(サービス事業課障がい支援係)	
障害者福祉センター	17
障害者地域自立生活支援センター サポート	18
障がい者就労支援センター サポート	18
特定相談支援事業	20
一般相談支援事業	20
福祉有償運送事業	20
(サービス事業課早期療育係)	
あいとびあ子ども発達教室“ばる”	21
(サービス事業課知的障がい者通所訓練係)	
生活介護事業 麦の穂	22
(プロジェクトチーム等)	
小地域福祉活動の推進	23
災害時の対応	23
地域福祉活動計画策定検討	23
フロア改修の検討	24
人材育成・人事評価制度等の検討	25
広報活動	25
(その他)	
狛江市社会福祉法人連絡会への参画	25
実習生受入れ	25

※事業報告書は、定款第39条に定める「事業報告の附属明細書」の内容を含んでいます。

令和5年度 社会福祉法人泊江市社会福祉協議会 組織図



令和5年度社会福祉法人狛江市社会福祉協議会事業報告

令和5年度基本方針

令和4年度、狛江市において第1次重層的支援体制整備事業実施計画が策定され、これまで社会福祉協議会が住民と共に推進してきた地域共生社会への取組みがより重視されることとなりました。そのため、社会福祉協議会では、令和4年度に事業のあり方検討委員会を設置し、既存事業の見直しと新たな地域課題の検討を行いました。

令和5年度は第3次地域福祉活動計画の最終年度にあたります。地域福祉活動計画策定委員会を立ち上げ、事業のあり方検討委員会の答申結果等を踏まえ、第4次地域福祉活動計画の策定作業を進めます。計画の策定を通して、地域の様々な立場の主体が、地域共生社会の実現に向け参加・協働していけるような取組みを重点的に展開していきます。加えて、生活介護事業所「麦の穂」の事業譲渡により、社会福祉協議会の経営資源を集中させることで、より一層地域福祉の推進を図っていきます。

市民の生活に大きく影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症ですが、ここに来て収束の兆しが見えはじめ、自粛されてきた様々な社会活動も再開されてきています。社会福祉協議会も事業を再開していますが、収束後の新たな事業として令和5年1月から新型コロナウイルス感染症の影響で減収した方への特例貸付の返済が始まりました。返済の手続きに合わせ丁寧に相談に応じていきます。

また、近い将来発生する可能性が高いとされる南海トラフ地震をはじめとした大規模災害等に備え、当会が行う介護及び障害福祉サービス事業所における業務継続計画の作成に取り組みます。

◆総括◆

令和5年度は、第4次地域福祉活動計画の策定、生活介護事業所「麦の穂」の他法人への事業承継、新規事業の開始等、多くの取組みを並行して進めた年度となりました。

地域福祉活動計画の策定では、住民意識調査による地域課題の分析や福祉専門職懇談会、地域住民懇談会による意見募集等を行い、地域の声を計画に反映させました。その上で、地域住民と進めていきたい課題を整理し、5年間で取り組むべき戦略「5年後の『こまえのまち』をデザインするために、見つける力 つなげる力 新しいことをつくる・そだてる力 で地域の想いをカタチにします」を掲げ、戦略を実現するための行動指針として7つのチャレンジを掲げました。

生活介護事業所「麦の穂」の他法人への事業承継では、保護者や関係者及び狛江市の協力をいただき、ご利用者の生活環境を変えずに、経営方針や人的資源を含め、滞りなく他法人へ引き継ぐことができました。今後、地域福祉活動計画に掲げた当会の人づくり・組織づくりに基づき、職員育成や組織づくりを進め、地域福祉の推進に向けた経営資源の集中を進めます。

また、自然災害や感染症のまん延防止のために、介護及び障害福祉サービス事業所に

おける事業継続計画を策定し、関連委員会等の推進体制を整備しました。今後、地域福祉活動計画の重点事業として掲げた避難行動要支援者が安心して生活できる地域づくりへの取組みを進めます。

◆新規事業◆

1 障がい者を対象とした一般相談支援事業の指定を受けます

医療機関への入院や入所施設で生活をしている障がいのある方が、一人暮らしを希望した時に、退院や退所からスムーズに地域へ移行し、安心して生活ができるように支援するために、東京都の指定を受け、令和6年3月に一般相談支援事業所を開所しました。

令和5年度は、医療機関や入所施設から狛江市に退院、退所したいという障がいのある方からの支援依頼はなかったため、一般相談支援事業所における地域移行支援計画案の作成実績はありませんでした。また地域生活を安定させるための支援依頼もなかったため、地域定着支援台帳の作成実績はありませんでした。

今後は、支援を必要とする方への周知を行い、対応してまいります。

2 認知症の人を対象にしたチームオレンジを実施します

5月から始まったチームオレンジひといきは、狛江で唯一のチームオレンジとして徐々に参加者を増やし、現在は、当事者、家族、認知症サポーター、介護保険関係者も含め、毎週25名を超える方が集う居場所となりました。認知症の高齢者を介護する家族の息抜きの場、情報交換の場として、また、若年性を含めた認知症高齢者が介護保険サービスを利用する際のきっかけ作りの場として、東京都内でも数少ないチームオレンジの実施事例となっており、市外からの見学者も増えています。

今後も、認知症サポーターの育成、必要なボランティアの紹介や運営資金についての相談など幅広い支援を行いながら、事業継続を支援していきます。

◆重点事業◆

多世代・多機能型交流拠点の機能を活かした地域福祉活動の推進

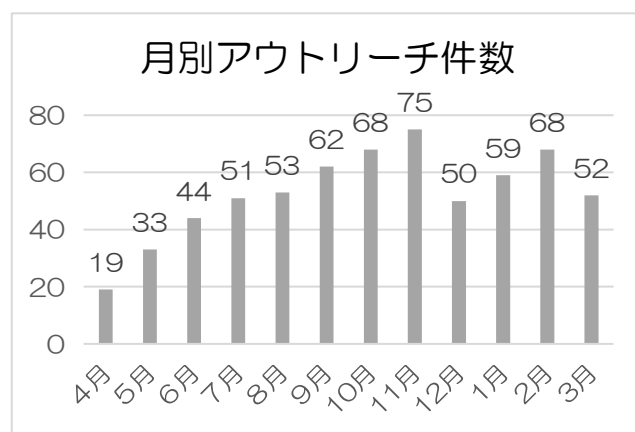
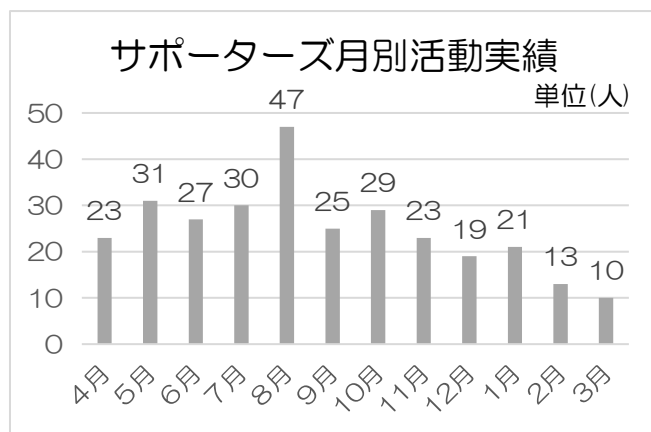
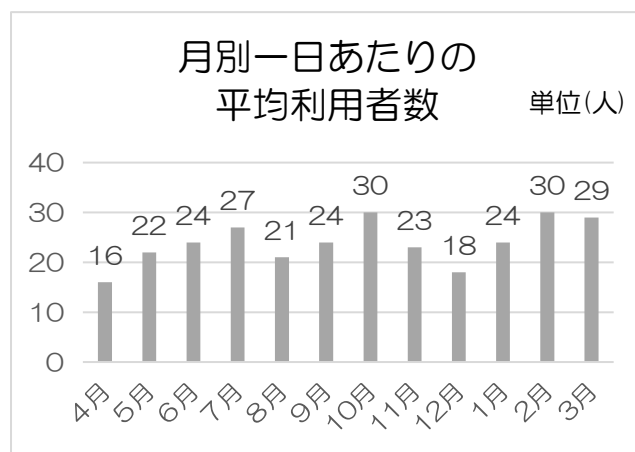
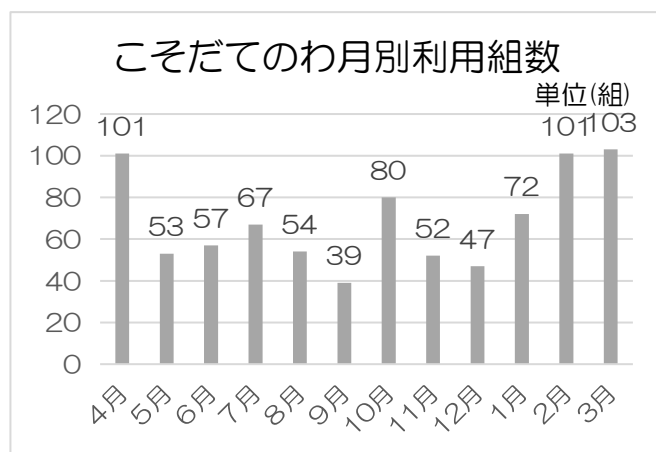
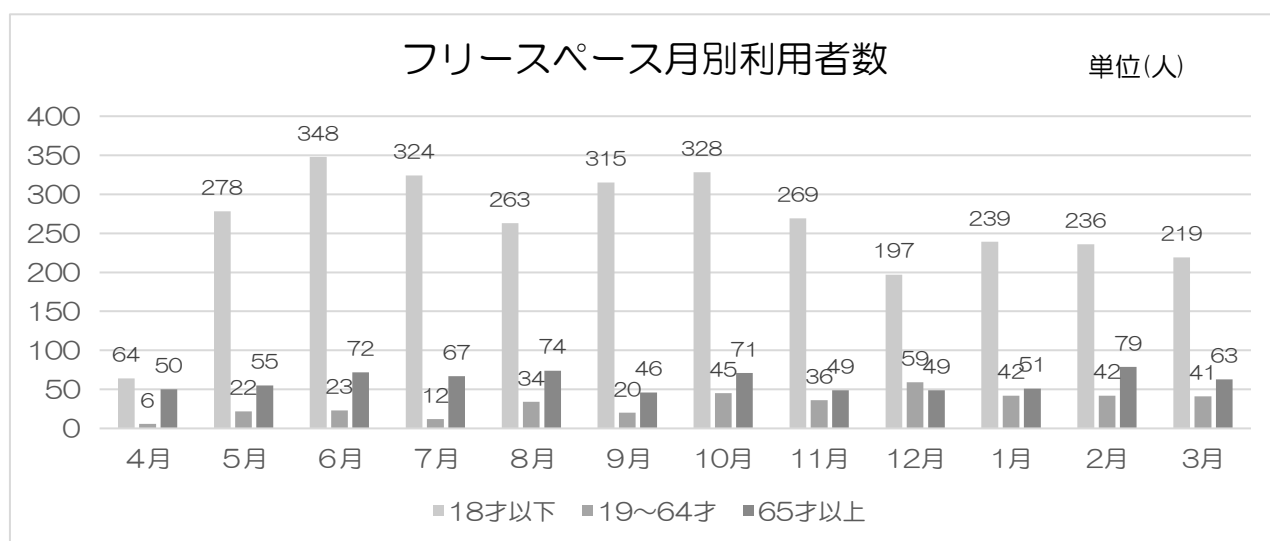
多世代多機能型交流拠点ふらっとなんぶは、令和5年3月に開所し、年間（令和5年4月から令和6年3月まで）で延べ5,931人の利用がありました。月別の利用状況等は以下のグラフのとおりです。フリースペースの利用者数では、18歳以下の利用が目立ちますが、下校後の小学生の利用が中心で、短時間で利用のニーズが高くなります。午前中から午後3時くらいまでは、乳幼児や高齢者などは幅広い世代の方が利用しています。

また利用者の声も反映しながら、様々なイベントを毎月行っています。令和5年度は

休所日の日曜日にイベント「ふらフェス夏っ!」を開催し、1日で延べ74名が利用しました。

ふらっとなんぶの運営を地域の方々に支えていただくサポーターズには、24名が登録され、利用者の見守りや読み聞かせ活動、畑の手入れなどのサポートをしていただきました。

ふらっとなんぶに足を運ぶことが困難な方や、周知活動のために職員が合計634回のアウトリーチを行いました。



◆実施事業◆

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係		
会員事業		
①社会福祉協議会会員制度		
○会費収入	2,911,000円	【2,867,000円】
※1,000円単位で任意の増額あり		
・つつじ会員（1口 1,000円）	1,679件	【1,694件】
・いちよう会員（1口10,000円）	69件	【71件】
・さくら会員（1口 30,000円）	13件	【10件】
○会員増強月間の取組（7月）		
・協力委員等による個別訪問の実施		
・前年度会員等へのダイレクトメール送付		
・社協だより196号での入会案内（払込取扱票の添付）（7/3発行 45,000部）		
・地域センター等へのパンフレット設置		
②会員制度協賛店事業		
○協賛店登録数	68店	【71店】
寄附事業		
○一般寄附金（物品寄附を含む）	78件	1,652,088円 【72件 26,717,255円】
○指定寄附金		
・誕生日募金	4件	26,190円 【1件 10,000円】
・その他の指定寄附金収入	11件	164,253円 【12件 236,992円】
収益事業		
①こまちゃんタオルハンカチの販売 60枚 【146枚】		
（大）クリーム4枚、ピンク8枚、ブルー26枚		
（小）ピンク12枚、ライトブルー10枚		
②こまちゃんTシャツの販売 3枚 【4枚】		
③社協だよりへの広告掲載 6枠 【6枠】		
④ホームページへの広告掲載 1件 【1件】		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
地域福祉の推進を目的とする「共同募金」の一環として次の運動を実施した。		
①赤い羽根共同募金運動（10/1～10/31）		
募金総額	543,324円	【605,315円】
※東京都共同募金会狛江地区協力会として実施		
街頭募金実施回数	3回	【3回】
参加団体数及び人数	7団体 60名	【10団体 54名】
		
		少年野球チームの子どもたちが呼びかける街頭募金

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係		
共同募金運動（赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい運動）		
②歳末たすけあい運動（12/1～12/31） 募金総額 2,243,337円【2,300,723円】 街頭募金実施回数 2回【2回】 参加団体数及び人数 5団体 22名【9団体 25名】		
あいとぴあ助成金事業		
＜助成団体＞ ○町会・自治会等 元和泉2・3丁目町会 ○施設・団体等 あおぞら自主保育狛江おひさまの会、狛江市老人クラブ連合会、こまこま☆子ども食堂 狛江電話訪問はとの会、タルトタタン、NPO法人ハッピーライフフォーエバー NPO法人バリアフリーセンター・福祉ネット「ナナの家」 合計8団体に592,240円を助成 【7団体 547,000円】		
ふくしえほん「あいとぴあ」		
①ふくしえほん ○ふくしえほん「あいとぴあ」の発行 市内幼稚園及び保育園に通う5歳児678名に配付【683名】 ○活用委員会 4回【4回】 ○担当職員研修会 3回【3回】 ・第1回（5/17） 講義「エコキャップの取組みについて」 講師：社会福祉法人足立邦栄会 こまえ工房 令和5年度福祉教育研究園報告 ・第2回（10/4） 講義・体験「パラスポーツ ボッチャ について」 講師：社会福祉法人足立邦栄会 ポンテ ・第3回（1/17） 福祉教育研究園による取組みの報告 ○福祉教育研究園 指定園 いずみ保育園 ②保育園及び幼稚園との連携 体験、見学、コーディネート等の相談 17件【10件】		
笑顔サービス		
①サービス実績等 ○利用会員登録数 257名【268名】 ○協力会員登録数 77名【80名】 ○新規利用相談件数 82件【98件】 ○サービス提供件数 4,206件【3,989件】 ○サービス提供時間 5,869時間【5,566時間】 ○笑顔のひろばの発行（会員向け広報紙） 4回【4回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係		
笑顔サービス		
②説明会・研修等 ○協力会員募集説明会 7回【9回】 ○協力会員新任研修 6回【7回】 ○協力会員現任研修 2回【2回】 ・「高齢者・老年期の心理とコミュニケーションについて」 (7/21) 参加者 9名 講師 カウンセリングサロンぱすてる 喜々津 博樹 氏 ・終活!!「安心な暮らしのための片づけポイントを収納計画」 (10/16) 参加者 7名 講師 片づけヘルパー 永井 美穂 氏 ③事業の周知 ○協力会員募集ポスターの掲示・チラシの設置 市内掲示板、こまえくぼ1234、地域センター、公民館、市民総合体育館、 イトーヨーカドー国領店、OKストア中和泉店、ふらっとなんぶ 10回【10回】 ○社協だより掲載 全戸配布 ○市内転入者へのチラシ配布 3,000部【3,000部】 ○X（旧公式ツイッター）による情報発信 8回【10回】 <訪問型サービスB> ※市委託事業 サービス実績等 ○利用者登録数 6名【6名】 ○活動者登録数 77名【80名】 ※笑顔サービス協力会員と重複 ○新規利用相談（問合せ含む） 0件【1件】 ○サービス提供件数 333件【333件】		
意思疎通支援事業 ※市委託事業		
①通訳者の派遣 ○派遣件数 手話通訳 374件（うち30件は事業内派遣）【366件】 要約筆記 34件（うち12件は事業内派遣）【19件】 ○登録通訳者 手話通訳 25名【23名】 要約筆記 24名【29名】 （うち7名は手書きのみ、13名はPCのみ、4名は手書き・PC両方） ②運営・スタッフ会議 ○手話運営委員会 6回【6回】 ○手話講習会スタッフ会議 3回【4回】 ○要約筆記運営委員会 6回【6回】 ○要約筆記講習会スタッフ会議 2回【5回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係		
意思疎通支援事業 ※市委託事業		
③通訳者研修		
○手話通訳者研修会		
12回【11回】		
・4/8 あいとぴあセンター	講師 渡邊 早苗 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・5/15 あいとぴあセンター	講師 高井 洋 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・6/12 あいとぴあセンター	講師 萩埜 友美 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・7/22 あいとぴあセンター	講師 真下 京子 氏（狛江市手話講習会養成クラス講師）	
・8/27 あいとぴあセンター	講師 江草 尚美 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・9/25 あいとぴあセンター	講師 田原 直幸 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・10/24 あいとぴあセンター	講師（狛江市福祉保健部高齢障がい課障がい者支援係）	
・11/17 あいとぴあセンター	講師 原 千夏 氏（手話教師センター）	
・12/19 あいとぴあセンター	講師 佐伯 富美子 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・1/25 あいとぴあセンター	講師 朝倉 靖裕 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
・2/3 あいとぴあセンター	講師（市内の聴覚障がい者）	
・3/18 あいとぴあセンター	講師 河野 光子 氏（東京手話通訳等派遣センター）	
○要約筆記者研修会		
8回【8回】		
・5/27 あいとぴあセンター	講師 吉田 弘子 氏（全国文字通訳研究会）	
・6/30 あいとぴあセンター	自主研修	
・8/12 あいとぴあセンター	講師 宇田川 芳江 氏（東京都中途失聴・難聴者協会）	
・9/10 あいとぴあセンター	自主研修	
・10/14 あいとぴあセンター	講師 狛江要約筆記サークル「こまくさ」	
・11/14 あいとぴあセンター	講師 倉方 厚子 氏	
・12/15 あいとぴあセンター	講師 狛江市社会福祉協議会 職員	
・2/16 あいとぴあセンター	自主研修	
④通訳者養成講習		
○手話講習会		
・初級コース		
受講生 19名	修了生 18名【申込者 9名 修了生 6名】	
・中級コース		
受講生 6名	修了生 5名【申込者 10名 修了生 7名】	
・上級コース		
受講生 6名	修了生 5名【申込者 5名 修了生 3名】	
・養成コース ※養成コースは過去の修了者を受け入れて実施		
受講生 11名	修了生 3名【申込者 10名 修了生 4名】	
○手話入門講座		
・全5回 【5回】		
受講者 11名	【16名】	
○手話通訳者全国統一試験フォローアップ講座		
・全5回 【5回】		
受講生 10名	【7名】	
○要約筆記講習会＜パソコン要約筆記講習会＞		
受講生 7名	修了生 7名【申込者 2名 修了生 2名】	
○要約筆記講習会フォローアップ研修＜パソコン要約筆記＞		
受講生 6名	修了生 6名【申込者 2名 修了生 2名】	

課・係	事業内容		【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係			
地域共生社会推進事業 ※市委託事業			
①コミュニティソーシャルワーカーの配置			
○個別支援 相談対応実数131名、相談対応延1,282回【170名 1,544回】			
○地域支援 相談対応実数53件、相談対応延1,414回【90件 2,352回】			
○スーパービジョン 3回【3回】			
②福祉カレッジの開催			
○日程 9/2～12/9 必修講義全6回、選択講義全9回			
○会場 あいとぴあセンター他			
○内容 必修講義はオリエンテーション、高齢、障がい、CSW、地域課題解決ゲームなど。 選択講義は、防災まち歩き、市民後見、民生児童委員、認知症の理解、子どもに関わるボランティア、不登校ひきこもりなど全9講義の中から2講義以上を選択。			
○受講生 15名【19名】			
○修了生 15名【17名】			
③福祉のまちづくり委員会の設置			
○こまえ苑エリア 委員会いこいねっと(令和3年8月から開始) 定例会5回開催、役員会5回、研修会1回【定例会6回、役員会4回】			
○あいとぴあエリア 和泉手つなぎ会(令和4年1月から開始) 定例会6回開催、代表副代表会5回、研修会・その他企画1回 【定例会5回、代表副代表会5回、その他活動3回】			
○こまえ正吉苑エリア のがわのわ(令和4年1月から開始) 定例会12回開催 【定例会11回】			
多世代・多機能型交流拠点事業 ※市委託事業			
○開所日数 248日【10日】			
○利用者数 5,931名【48名】			
○アウトリーチ回数 634回【0回】			
○サポーターズミーティング 1回【令和5年度新規】			
生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業			
<生活福祉資金>			
①相談件数 722件【455件】			
○新規貸付相談 72件【33件】			
○継続貸付相談 461件【311件】			
○償還関係 154件【98件】			
○その他 35件【13件】			
②貸付決定件数・金額			
8件	11,216,000円	【3件	1,036,000円】
○福祉資金	4件	684,000円	【2件 457,000円】
・福祉費	1件	412,000円	【2件 457,000円】
・緊急小口資金	3件	272,000円	【0件 0円】

課・係	事業内容		【 】内は令和4年度実績	
地域福祉課地域総務係				
生活福祉資金貸付事業 ※東社協委託事業				
○教育支援資金	3件	2,552,000円	【1件	579,000円】
・教育支援費	2件	2,052,000円	【1件	579,000円】
・就学支度費	1件	500,000円	【0件	0円】
○総合支援資金	0件	0円	【0件	0円】
・生活支援費	0件	0円	【0件	0円】
・住宅入居費	0件	0円	【0件	0円】
・一時生活再建費	0件	0円	【0件	0円】
○要保護向け不動産担保型生活資金	1件	7,980,000円	【0件	0円】
＜新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付＞				
①相談件数				
○償還相談		358件	【552件】	
※申請受付は、令和4年9月で終了				
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ※東社協委託事業				
貸付決定件数及び決定額の内訳				
○入学準備金	0件	0円	【0件	0円】
○就学準備金	0件	0円	【3件	1,500,000円】
○住宅支援資金	0件	0円	【0件	0円】
受験生チャレンジ支援貸付事業 ※市委託事業				
①相談件数 609件 【670件】				
○新規貸付相談	50件	【64件】		
○継続貸付相談	485件	【558件】		
○償還相談	74件	【48件】		
②貸付決定件数及び決定額				
	73件	7,775,300円	【74件	8,181,700円】
○塾代	32件	6,072,700円	【34件	6,345,200円】
○受験料	41件	1,702,600円	【40件	1,836,500円】
③事業の周知				
○市内の学習塾へパンフレット配付等	21校	【20校】		
○中学校を通したマチコミメールでの周知				
○市報、社協だよりへの掲載				
○公民館・地域センター等へのチラシの設置				
○商業施設へのチラシの掲示				
○都営狛江アパートへのチラシの掲示				
○市ホームページ、フェイスブック・ツイッター・Instagram掲載				
○社協ホームページ、ツイッターへの掲載				
○過去の利用者へのご案内送付				
電話訪問活動支援 ※「狛江電話訪問はとの会」が行う、高齢者の見守り活動を支援				
「狛江電話訪問はとの会」は、高齢者等に電話をかけお話し相手や安否確認を行うことを通して、孤独の解消や見守りを目指している。				

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課地域総務係		
心身障害児（者）緊急一時保護事業 ※市委託事業		
○実施件数 130件【102件】 介護形態別内訳 登録介護人によるもの 127件【91件】 協力施設によるもの 3件【11件】 ○利用登録者 74名【69名】 障がい別内訳 身体障がい 10名【10名】 知的障がい 42名【38名】 精神障がい 3名【3名】 重複障がい 19名【18名】 難病 0名【0名】 ○登録介護人 51名【48名】 ○登録介護協力施設 5か所【4か所】 社会福祉法人光友会ひかり作業所、NP0法人ハッピーライフフォーエバー、 NP0法人バリアフリーセンター福祉ネット「ナナの家」、 NP0法人アビリティクラブたすけあい狛江たすけあいワーカーズなかよし 社会福祉法人足立邦栄会 こまえ工房		
理事会等の開催		
○役員会 1回【1回】 ○理事会 5回【3回】 ○評議員会 3回【3回】 ○監査 1回【1回】 ○評議員選任・解任委員会 3回【0回】		
情報発信		
①ホームページの運用 アクセス数 87,504件【50,728件】 ②ツイッターの運用 ツイッターフォロワー数（令和6年3月末） 965件【787件】 ③広報紙「社協だより」の発行 新聞折込3回（No195、197、198） 発行部数 各24,000部【3回 24,000部】 全戸配布1回（No.196） 発行部数 45,000部【1回 45,000部】		
労働安全衛生関係		
○衛生委員会の開催 12回【12回】 ○産業医 加藤 一彦 氏（かとうクリニック）		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業		
①相談機能		
○新規相談件数 338件（個人101件、団体237件）		【314件】
＜内訳＞		
・新規活動相談		46件
・団体運営に関すること（助成金関係含む）		30件
・情報収集		78件
・情報発信		54件
・ボランティア・講師等の依頼、問合せ		37件
・寄付・寄贈		24件
・その他		69件
○専門相談		
・専門相談会 1回		【2回】
②拠点機能（市民及び市民活動団体への支援）		
3/26～3/31まで臨時休館（仮移転準備のため）		
○来館者数 5,505名		【6,607名】
○機材・物品の貸出 プロジェクターやスクリーン等の貸出		6件 【1件】
○回収活動の推進		
使用済みの切手を回収し市民活動の推進のために活用している。		
・切手カフェ 全22回 参加者116名		延べ名【全24回 延べ185名】
出入り自由のカフェ形式でボランティアを募り、回収された使用済み切手の整理を実施		
○ボランティア保険・行事保険加入取りまとめ		
・ボランティア保険加入者数		1,846件 【1,860件】
（内天災プラン加入数		274件 【111件】）
・行事用保険加入申込件数		144件 【117件】
（内当日参加対応型加入数		50件 【35件】）
○フリースペースの登録団体優先利用		
・イベント利用		10件 【15件】
・展示利用		5件 【5件】
○登録団体・登録者数		団体 208団体 個人 137名 【248団体 個人131名】
		（うち社会貢献事業所登録 71件 【55件】）
・登録団体説明会		0回 0団体 【2回 11団体】
③情報収集・発信機能		
○広報紙「こまえくぼ1234」（22～32号）の発行 各号4,000部発行（うち4回は9,500部）		
※ボランティアによる発送準備、配布協力		
・新規配布場所		2か所 【7か所】
・読者アンケートプレゼント掲載		4回 【4回】
・地域の皆さんと歩む事業所紹介		11回 【10回】
○広報誌「こまえがお」の発行		
市民のボランティアからなる広報部会において編集・作成		
・市民活動情報紙わっこに「こまえがおmini」として掲載		0回 【4回】
・広報紙「こまえくぼ1234」に掲載		4回（26、27、30、32号） 【年4回】

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業		
○屋外掲示板での市民活動団体の情報発信 ・登録説明会 0回 0団体 ・登録団体 19団体 掲示数 55件（移転準備に伴い2月末で終了） ○コマラジ番組出演での情報発信 ・番組名：KOMAE AM フライデーアートサーカス（毎週金曜日8：00～11：00放送） ・番組内コーナー（狛江・生活情報コーナー）で市民活動団体を紹介 - 市民活動支援センター出演 14回【11回】 - 市民活動支援センター専門部会等出演 1回【3回】 - 市民活動団体出演 31団体【27団体】 - その他出演 3団体【3回】 ○ホームページ・SNSの活用 ・ホームページ管理 アクセス数 133,003件【137,905件】 ・在宅入力ボランティア 11名【11名】※令和5年度で終了 ・投稿サポーター 4名【7名】※令和5年度で終了 ・登録団体の記事投稿数 328件【316件】 ④交流・人材養成・研修機能 ○参加と協働市民推進フォーラム（狛江市市民参加と市民協働に関する審議会・狛江市共催） 「第7回狛江☆サミット「～ボランティア・市民活動のイロイロを知ろう！～」 参加者 45人【50人】 ○夏の体験ボランティア事業 「夏にはじめるちょこっと地域ふれあい体験」 ・初めてのプログラミング体験(2回) 参加者 18名【10名】 ・見えない人の世界を知ろう 未実施【5名】 ・聞こえない人とZoomでおしゃべりしてみよう 未実施【14名】 ・力を合わせて狛江の街を花で盛り上げよう （地域との連携で実施） 未実施【12名】 ・親子で学ぶ狛江の防災 未実施【18名】 ○体験ボランティア事業 ・点字メニューを作ろう 夏の体験ボランティアとして実施 未実施【5名】 ・地域ふれあい体験プログラム2023 じゃがいも堀体験～狛江でつくられる野菜を知ろう～ 参加者12名【令和5年度新規】 ・体験@こまえくぼボランティア★ラリー2023（7/15～9/10） 参加者20名【令和5年度新規】 ・体験@こまえくぼボランティア★ラリー2023第二弾（11/20～12/28） 参加者14名【令和5年度新規】 ○日本語学習支援協力 ※団体（にほんごしえん）へ移行 ・参加者数 0名【61名】 ・被支援者数 0名【18名】 ○保育園・幼稚園との連携 体験・見学等の体験学習実施 17件【10件】【車いす体験9件、手話体験8件】		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業		
○小中学校との連携 体験・見学等の体験学習実施 12件【10件】 【車いす体験2件、視覚障がい者体験4件LGBTQ理解1件、多文化共生1件、聴覚障がい者体験2件、高齢者体験1件、防災・ハザードマップ1件】 ⑤ネットワーク・マッチング ○団体向け講座 ・「ボランティア・市民活動の安全と安心」(5/8) 参加者 6団体11名 ・「そうだったのか！楽しく続ける活動の進め方①」(6/4) 参加者 7団体11名 ・「そうだったのか！楽しく続ける活動の進め方②」(6/11) 参加者 7団体11名 ・「こども食堂だけじゃない！地域の食堂と居場所のための防災講座」(8/28) 参加者 5団体6名 ○ごはんと居場所連絡会の支援 会議9回【会議6回】 ⑥関係機関との連携 ○北多摩南部ブロックボランティア市民活動支援センター担当者会議 3回【3回】 ○介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会 2回【3回】 ○狛江市地域学校協働活動推進委員会 1回【2回】 ⑦その他 ○運営委員会 定例会5回【4回】 ・検討チーム 調査・研究 0回【5回】 きっかけ講座 2回【3回】 社会資源の活用の推進 0回【6回】 ○専門部会 ・広報部会 ※センターが発行する広報誌「こまえがお」の編集を行う専門部会 活動者 8名【6名】 編集会議 7回【8回】 ・ホームページ部会 ※センターのホームページの活用を推進していくための専門部会 活動者5名【4名】 会議 9回【12回】 ホームページ利用説明会 実施なし【6団体6名】 ホームページ利用勉強会 実施なし【2団体2名】 ホームページ投稿相談会 (4/13、5/11、6/8、7/13、8/10、10/12、12/14、1/11、2/8、3/14) 参加者 15団体15名【8団体11名】 ・体験学習部会 ※体験学習プログラムを検討し推進していく専門部会 活動者9名【9名】 会議11回(イベント・撮影を含む)【18回】		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課市民活動支援係		
市民活動支援センターこまえくぼ1234 ※市指定管理事業 ○こまえくぼ1234フェスティバル 回数3回 参加者2,717名（回数2回 参加者3,000名） 【詳細】 ・第3回 5/21 参加者 327名 ・第4回 11/5 参加者 2,165名 ・第5回 3/9 参加者 225名 ・こまえくぼ1234応援隊 13回【9回】  第4回こまえくぼ1234フェスティバルえきまえ広場の様子  第5回 こまえくぼ1234フェスティバルの様子		
地域福祉課相談支援係		
地域包括支援センター ※市委託 ○総合相談件数 延 4,333 件【5,396件】 うちエリア外対応 延 12 件【21件】 ○新規相談件数 延 262 件【301件】 ○月平均介護予防給付管理数 113 件【118件】（自社作成分） 10 件【10件】（居宅委託分） 月平均介護予防ケアマネジメント数 93 件【99件】（自社作成分） 7.5 件【6件】（居宅委託分） ○虐待対応 実件数 11件 対応数 64 件【実件数18件 対応数53件】 ○権利擁護 実件数 76件 対応数 628件【実件数38件 対応数165件】 ※成年後見申し立て支援、消費者被害対応、困難事例対応（サービス拒否、多問題家族、経済的困窮等）を含む。 ○介護予防普及啓発事業 36回【36回】 内訳 運動30回【30回】（あいとぴあセンター、西和泉二棟集会室、多摩川住宅イ号棟集会所） ウォーキング講座6回【6回】 ○認知症カフェ（KOMA CAFE+） 12回【12回】 ○チームオレンジ（Caféひといき） 39回【令和5年度新規】 ○認知症サポーター養成講座 5回【6回】 ○多世代イベント（こまぱく） 7回【令和5年度新規】 ○介護者の集い 12回【12回】 ○ケアマネジャー支援 延 317 件【延322件】 ○民生委員との懇親会・定例会 1回【1回】 ○家族介護者支援事業 2回【2回】 ○実習生受入（慈恵第三看護専門学校） 10名【6名】 ○実習生受入（慈恵医大看護学科） 4名【4名】 ○地域ケア会議（個別ケア会議） 7件【3件】 ○居場所づくり 大人の社会科見学 0回【2回】 ○ICTを活用した健康予防事業 3回【6回】 ○ケアマネジャー向け研修 2回【1回】 ○ケアマネジャー向け事例検討会 1回【1回】  Caféひといきの様子		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
地域福祉課相談支援係		
あんしん粕江 ※東社協委託事業・市委託事業		
地域福祉権利擁護事業 ※東社協委託事業		
①専門員配置数		2名【2名】
②生活支援員登録者数		11名【14名】
③契約者数	新規契約件数	17件【8件】
	解約件数	17件【10件】
	契約件数（3月末）	57件【57件】
④相談件数（問合せ・継続相談等）		1,584件【1,940件】
⑤契約に基づく支援件数		1,176件【1,185件】
あんしん粕江 ※東社協委託事業・市委託事業		
福祉サービス総合支援事業 ※市委託事業		
①業務担当者配置数		1名【1名】
②利用者サポート事業		
○福祉サービスの利用に際しての苦情対応		0件【1件】
○成年後見制度の利用相談		1,056件【1,864件】
※うち件は申立支援相談件		185件【229件】※実人数29名【52名】
○その他福祉サービスに関する専門的な相談		38件【73件】
③福祉サービス利用援助事業		
○対象拡大契約件数		4件【4件】
○対象拡大支援件数		24件【62件】
○減免対象者の支援件数		45件【53件】
④苦情対応専門相談の設置		
○弁護士による専門相談		18件【21件】
⑤あんしん粕江運営委員会		4回【4回】
生活支援体制整備事業 ※市委託		
○生活支援コーディネーターの配置		1名【1名】
○社会資源訪問調査		49件【95件】
○関係機関への周知・情報交換		71件【333件】
○他市見学・情報交換		7件【3件】
○個別相談		4件【8件】
○研修への参加		2回【8回】
○地域課題検討会議幹事会		4回【2回】
○地域課題検討会議及び生活支援体制整備協議会		2回【2回】
○介護予防等による地域づくり活動推進員連絡会		4回【4回】
○シニアの生活支援ネットワーク		2回【1回】

課・係	事業内容		【 】内は令和4年度実績
地域福祉課相談支援係			
	ホームヘルプサービス事業		
	①登録訪問介護員等		
	ホームヘルパー	12名【16名】	認定ヘルパー 7名【9名】
	○ヘルパー会議	11回【10回】	
	②総合事業		
	○利用者数	延 381名	【390名】
	○サービス提供件数	延 1,664件	【1,649件】
	○サービス提供時間	延 1,589時間	【1,596時間】
	③認定ヘルパー養成研修(市委託)		
	○実施期間	6/19～6/21	修了者数 13名 【3クール 32名】
○実施期間	10/11～10/13	修了者数 5名	
居宅介護支援事業			
	介護支援専門員	2名【2名】	
	○月平均給付管理者数	65名	【68名】
	○認定調査受託	2件	【8件】
	○東京慈恵会医科大学医学部看護学科実習生受け入れ	4名 4日間	【4名 4日間】
	サービス事業課障がい支援係		
障害者福祉センター ※市委託事業			
	①歯科相談		
	○開設日数	8日【8日】	
	○相談件数	延97件【延113件】	
	○相談員	狛江市歯科医師会歯科医 4名【4名】	
		花井 浩 氏、堀江 純一 氏、松浦 康文 氏、宮崎 洋子 氏	
		歯科衛生士 2名【3名】	
		松原 かずみ 氏、和泉 弥生 氏	
	○はみがき講習会	実施回数 6回【7回】	参加者数 延78名【延59名】
	○ブラッシング指導	実施回数 22回【24回】	参加者数 延207名【延235名】
	②自立支援総合相談		
障害者地域自立生活支援センターサポート（18ページ）に記載			

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
サービス事業課障がい支援係		
障害者地域自立生活支援センター サポート ※市委託事業		
①支援延べ件数 ※（ ）内はうちピアカウンセリング件数 2,504(632)件 【3,502(667)件】 ○福祉サービスの利用等に関する支援 723(2)件 【787(6)件】 ○障害や病状の理解に関する支援 101(39)件 【262(55)件】 ○健康・医療に関する支援 330(9)件 【357(10)件】 ○不安の解消・情緒安定に関する支援 327(165)件 【598(220)件】 ○保育・教育に関する支援 18(0)件 【95(0)件】 ○家族関係・人間関係に関する支援 107(6)件 【244(17)件】 ○家計・経済に関する支援 73(0)件 【90(1)件】 ○生活技術に関する支援 97(39)件 【144(33)件】 ○就労に関する支援 49(9)件 【95(0)件】 ○社会参加・余暇活動に関する支援 76(12)件 【142(16)件】 ○権利擁護に関する支援 94(0)件 【95(0)件】 ○その他 509(351)件 【593(309)件】 ○ピアカウンセリング ※再掲 632件 【667件】 ②社会生活力向上のための支援 ○各種研修・ワークショップ1回【2回】・「障がい者グループホームって何？」講演会17名 ○自立生活プログラム 5回参加者実7名延36名 【5回実4名延19名】 ○フリースペース 26回延101名 【26回延111名】 ③地域支援 ○上手いもの市 2回（各2日間） 出店各10団体 【2回 出店8団体】 ○上手いもの市実行委員会 3回【2回】 ④狛江市地域自立支援協議会への参画 ○狛江市地域自立支援協議会 3回【3回】 ○狛江市地域自立支援協議会検討会議 4回【4回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 役員会 12回【6回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス 全体会 1回【1回】 ○狛江市地域自立支援協議会当事者部会ペガサス イベント 1回【1回】		
障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業		
①就労支援登録者 223名 （就労中111名 うち新規就労29名） 【203名 うち就労中136名】 ②相談支援件数 <就労支援> ・職業相談 延1,671件 【延1,738件】 ・就職準備支援 延 122件 【延665件】 ・職場開拓件数 延 40件 【延10件】 ・職場実習 延 23件 【延26件】 ・職場定着支援 延1,817件 【延2,273件】 ・離職支援 延 36件 【延58件】 <中間的就労> 1名 【1名】		



大勢の人でにぎわう
「上手いもの市」(狛江駅)

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
サービス事業課障がい支援係		
障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業		
<生活支援> ・日常生活支援 延 140件【延188件】 ・安心して職業生活を続けられるための支援 延 110件【延136件】 ・豊かな社会生活を築くための支援 延 147件【延364件】 ・将来設計相談 延 0件【延5件】 <訓練等実績> ・委託訓練 延 1件【延0件】 ・職場実習 延 5件【延2件】 <職場体験実習> 第1回（社会福祉協議会）9/27～10/4 6日間（実習生2名）【6日間2名】 第2回（粕江市役所）※応募者なし 0日間（実習生0名）【6日間1名】 ③関係機関情報交換会 2回【2回】 障がい者就労支援情報交換会 （参加機関）ひかり作業所、こまえ工房、ワークイン・メイ、パサパ、ワークひなた 粕江市福祉保健部高齢障がい課、ハローワーク府中 ④関係機関会議等 ○東京都障害者就労支援関係機関意見交換会 1回【1回】 ○多摩地域就労支援事業実施団体連絡会議 3回【3回】 ○障害者雇用連絡会議 0回【0回】 ○精神障害者就労支援定着連絡会 1回【2回】 ○多摩就労支援ネットワーク連絡会議 1回【3回】 ○TALANT連絡会議 1回【0回】 ○多摩北部ブロック就労支援を考える会 1回【2回】 ○障害者就業・生活支援センター長会議 0回【1回】 ⑤講演会・セミナー <ミニ講演会> ○就労促進ミニ講演会「長く働くために知っておきたい職場での人間関係（10/7）」 参加者16名【11名】 講師：山本 良典 氏（東京都心身障害者福祉センター職員） ○就労促進ミニ講演会「ハローワークの上手な使い方（10/20）」 参加者16名【10名】 講師：湊 麗子 氏（ハローワーク府中専門援助部門職員） ○就労促進ミニ講演会「働きがいの再発見と時間管理（12/2）」 参加者10名【9名】 講師：前田 美和 氏（東京しごと財団講師：キャリアコンサルタント） <障がい者就労理解を促進するための市民向け講演会> ○障がい者就労促進講演会・企業見学会（11/29）参加者 9名【9名】 企業見学先：学研スマイルハートフル <障がい者就労促進講演会> ○障がい者就労促進講演会（1/13）参加者 12名【10名】 登壇者：サポート登録者：望月 敦史 氏（日本アクセス株式会社勤務） <就労アカデミー> 1回目：就労準備のポイント（7/6） 参加者 13名【7名】 2回目：生活リズムを整える（7/14） 参加者 11名【8名】		

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
サービス事業課障がい支援係		
	障がい者就労支援センター サポート ※市委託事業	
	⑥地域開拓促進コーディネート ○個別相談支援件数 ・就労相談 延 87件【延 90件】 ・職場開拓件数 延 40件【延 4件】 ・登録者の職場定着支援 延 57件【延 80件】 ○就職希望者、企業の掘り起し ・企業訪問件数 延 31件【延 57件】 ・福祉施設訪問件数 延 349件【延358件】 ・見学会等への参加 6社【14社】 ※地域開拓促進コーディネートとして、上記件数に次の中間的就労（短時間雇用）開拓のための活動件数を含む。 ・求職者の就労相談件数 延 27件【11件】 ・企業等の開拓件数 延 8件【15件】	
	特定相談支援事業	
	○利用契約者人数（3月末） 特定相談 133名【139名】 児童計画相談 35名【52名】 ○サービス等利用計画作成件数 特定相談 229件【120件】 児童計画相談 108件【50件】 ○モニタリング件数 特定相談 951件【446件】 児童計画相談 317件【149件】 ○相談支援事業所連絡会への参加 24 回【24回】	
	一般相談支援事業 ※令和6年3月開始	
	①地域移行支援事業 ○地域移行支援画作成件数 0回【令和5年度新規】 ②地域定着支援事業 ○地域定着支援台帳作成件数 0回【令和5年度新規】	
	福祉有償運送事業	
	○利用登録者数 49名【40名】 ○運行回数 延1,512件※うち児童送迎は延556件 【延 1,004件※うち児童送迎は延436件】	

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
サービス事業課早期療育係		
	あいとぴあ子ども発達教室“ぱる” ※市委託事業	
	○開所日数 242日【244日】 ※集団・プール療育実施回数 333回【337回】 ※グループの内訳は以下のとおり。 火、水、木（午前・午後）・月（午後）、金プール（A・Bグループ） ○通所児童 定員 80名（10名×8グループ）【63名】 実利用人数 49名【50名】 通所人数（集団・プール療育）延1,397名【延1,335名】 ○新規利用開始児童 16名【19名】 ○個別指導（個別療育） 延369名【延324名】 内訳）言語療法164名【134名】 理学療法34名【64名】 作業療法164名【126名】 ※理学療法は今年度から月1回実施へ変更 ○ペアレント・トレーニング 15回延63名【24回 延67名】 ※対象年齢4、5歳の保護者の参加による月1回の開催を行い、補習講座も実施した。 ○ママのおしゃべり会 11回 延53名 【1回 延7名】 ○心理相談 16名【22名】※軽易な相談や保護者見学時の説明等は集計せず。 ○保護者相談（電話相談含） 延84名【延195名】 ○保護者会 4回 延69名【2回 延10名】 ○個人面談 延70名【延109名】 ○行事（遠足） 1回 参加者22名（親子11組）【1回 参加者10名】 ○家族参観日 39回 48名【33回 48名】※「参観月間」として年2回実施した。 ○専門職連携会議 2回【1回】 ○スタッフカンファレンス 2回【1回】 ※全体カンファレンス→スタッフカンファレンスへ名称変更 ○見学受入れ（延べ） 利用希望者 30名【28名】 関係機関 延5名【1名】 ○関係機関実習生受入れ 延2名【延4名】 ○卒業面談 14名【14名】 ○終了面談 3名【2名】 ○初回面談 16回【19回】 ○幼稚園訪問 5回【5回】 内訳：染地幼稚園（2回）、狛江こだま幼稚園（2回）、子鹿幼稚園（1回） ○保育園訪問 7回【3回】 内訳：めぐみの森（2回）、一の橋赤ちゃんの家（1回）、藤塚（1回）、ちとせ（1回） 木下の保育園元和泉（1回）、多摩川（1回） ○プール指導 6回【5回】 ○スタッフ研修 1回【2回】 ○市民・関係機関からの利用相談及び情報共有 延194件【延216件】 ○就学支援会議 1回【1回】 ○関係機関会議 15回【13回】 ○夏ぱる 参加者59名【61名】 ※8/7（月）～8/24（木）までの12日間、1グループ3名の少人数予約制とし、通常の所属グループとは違う形で夏季プログラムを実施した。 ○先輩お母さんの話 16名【12名】 ※4歳児、5歳児の保護者対象	

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
サービス事業課知的障がい者通所訓練係		
	生活介護事業 麦の穂 ※一般社団法人アイビーへの事業承継により令和6年3月31日付で廃止	
	○開所日数	231日 【231日】
	○利用者	13名 延2,698名 【15名 延3,201名】
	○保護者会	11回 【8回】
	○個別面談	6日間 【6日間】
	○行事	22回 【6回】
	○ケース会議	10回 【10回】
	○利用者定期健康診断	1回 【1回】
	○嘱託医相談	12回 【11回】
	○体育館活動	10回 【8回】
	○3B体操	11回 【11回】
	○資源物回収活動	16回 【16回】
	○プール活動	50回 【32回】
	○宅配弁当活動	5回 【10回】
	○喫茶活動	36回 【34回】
	○音楽会	4回 【3回】
	○おやつ会	24回 【17回】
	○ビデオ鑑賞	49回 【35回】
	○自主製品販売	1回 【3回】
	○自主製品公民館展示	2週間 【2週間】
	○障がい者週間自主製品展示販売	2日間 【2日間】
	○消防避難訓練	2回 【2回】
	○送別会	3回 【5回】
	○政見ビデオ鑑賞	1回 【1回】
	○模擬投票	1回 【1回】
	○専門指導	
	作業療法	2回 【2回】
	音楽療法	4回 【4回】
	織り	3回 【3回】
	造形	4回 【4回】
	スーパービジョン	4回 【4回】
	理学療法	4回 【3回】
	○歯磨き指導	4回 【4回】
	○歯科相談	2回 【2回】
	○新型コロナウイルスワクチン接種	2回 【2回】
	○インフルエンザウイルスワクチン接種	1回 【1回】
	○実習生受入れ	1名 【1名】
	○ボランティア活動受入	
	織りボランティア	3回延3名 【5回延22名】
	○見学者	2名 【24名】
	○職員研修会	
	強度行動障害支援者養成研修会基礎	5名 【1名】
	てんかん講座研修会	0名 【3名】
	サービス管理責任者現任研修	1名 【0名】
	虐待防止研修会	延36名 【12名】

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
プロジェクトチーム等	プロジェクトチーム等	
	小地域福祉活動の推進	
	①岩戸地域ネットワーク活動の支援 ○岩戸地域福祉推進委員会 全体会 3回【3回】 ○お茶のみ会 12回 参加者延336名【延139名】 ②猪方駒井地域ネットワーク活動の支援 ○猪方駒井地域福祉推進委員会 全体会 1回【1回】 ○おしゃべりサロン 12回 参加者延655名【11回 延407名】 ③野川地域ネットワーク活動の支援 ○野川地域福祉推進委員会会議 12回 【11回】 ○サロン野川 11回 参加者延354名【10回 延282名】 ④和泉地域ネットワーク活動の推進 ○“サロンいずみ”をささえる会への支援（中和泉5丁目） ・サロンいずみ 10回 参加者延80名【5回 延38名】	
	災害時の対応	
	○災害対応検討プロジェクトチーム会議 0回【3回】 各部署から選出された7名の職員で構成されているプロジェクト ○災害ボランティアセンターの周知活動及び災害に関する勉強会 2回【2回】 ・ 狛江市青年会議所との勉強会(4/17) 災害時協定を結んでいる狛江市青年会議所のメンバーと災害対応検討プロジェクトチームとで勉強会を行い、それぞれの業務紹介に加え、災害時の取り組みについて説明と意見交換を実施した。 ・ 避難所運営協議会研修会(9/25) 狛江市避難所運営協議会のボランティア班向け研修として、災害ボランティアセンターの役割や内容について説明した。 ○災害ボランティアセンター設置運営訓練・その他訓練の参加 0回【2回】	
	地域福祉活動計画策定検討	
	本委員会 ○地域福祉活動計画策定委員会 4回【1回】 (令和5年5月24日、8月3日、11月22日、令和6年2月16日) 実務委員会 ○地域福祉活動計画策定委員会実務委員会 18回【0回】 (令和5年4月27日、5月9日、5月15日、5月18日、5月29日、6月12日、6月16日、6月21日、7月5日、7月13日、8月17日、9月6日、9月29日、11月1日、11月9日、11月27日、12月7日、令和6年1月31日)	

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
プロジェクトチーム等		
地域福祉活動計画策定検討		
ヒアリングによる地域課題の収集		
①地域住民懇談会 ○地域住民懇談会 2回【0回】 第1回 令和5年10月21日、第2回 10月22日 会場方式 参加者数 第1回 12名 第2回 9名 合計 21名 テーマ 「普段の生活の中でちょっとできる支えあい」 参加者が認識している課題 12分野 ②福祉の専門職による懇談会 ○高齢分野 1回【1回】 令和5年10月13日 オンライン方式 参加者数 29名 テーマ 「制度の狭間にいる人の支援について」 参加者が認識している課題 6分野 ○子ども分野 1回【0回】 令和5年10月4日 会場方式 参加者数 14名 テーマ 「「あいとぴあ」のこれからについて」 参加者が認識している課題 2分野 ○権利擁護分野（障がい・高齢共通） 1回【0回】 令和5年10月12日 オンライン方式 参加者数 16名 テーマ 「狛江市の良さを生かした権利擁護支援の地域連携ネットワークについて考える」 参加者が認識している課題 3分野 ○障がい分野 1回【0回】 令和5年10月25日 会場方式 参加者数 17名 テーマ 「障がいや病気により支援が必要な人が社会参加しやすい地域について考える」 参加者が認識している課題 9分野		
周知活動		
①地域住民との地域福祉活動計画素案内容の情報共有（市民説明会） 1回【0回】 令和5年12月21日 会場・オンラインハイブリッド方式 参加者数 合計 18名（会場13名、オンライン5名） 意見総数 8意見		
フロア改修の検討		
①プロジェクト会議 10回【令和5年度新規】 第1回 令和5年8月9日 本プロジェクトの目的と進め方について フロア改修を主軸に業務のあり方を見直し、社協内・地域との連携のしやすい社協を目指すことを目的とした。 第2回 令和5年8月30日 現行のフロアの要改善点について、業務の効率化について 【フロア改修のコンセプト】 ・市民が分かりやすい窓口 ・市民とともに歩む社協イメージのオフィス		



地域住民懇談会の様子



専門職懇談会《高齢分野》の様子

課・係	事業内容	【 】内は令和4年度実績
プロジェクトチーム等	フロア改修の検討	
	第3回 令和5年9月8日	改修テーマの決定☆大まかなレイアウトの検討
	第4回 令和5年9月21日	業者提案イメージの共有、必要・廃棄物品の洗い出し
	第5回 令和5年10月5日	改修に伴う職員へのフォロー体制について
	第6回 令和5年11月16日	社内アンケート内容の決定
	第7回 令和6年1月11日	社内アンケートの結果について、業者の選定について
	第8回 令和6年2月21日	選定の基準について
	第9回 令和6年3月7日	改修業者選定プレゼンテーションの結果を受けて
	第10回 令和6年3月27日	改修業者決定にむけて
	②職員アンケートの実施(12/26～1/10)	1回
③改修業者選定プレゼンテーションの実施(2/29)	1回	
人材育成・人事評価制度等の検討		
○プロジェクト会議 8月31日～3月31日 全17回【令和5年度新規】 地域福祉活動計画に基づき「社協の人づくり・組織づくり」を推進するため、各部署から選出された職員からなるプロジェクトチームを結成し、職員の人材育成・評価制度等の人事制度全般の見直しや新たな戦略の推進に向けた組織づくりについて、検討した。		
広報活動		
①広報紙「社協だより」の発行 ※再掲 新聞折込3回（No195、197、198） 発行部数 各24,000部【3回 24,000部】 全戸配布1回（No.196） 発行部数 45,000部【1回 45,000部】		
②マスコットキャラクター出演 ・赤い羽根共同募金街頭募金（10/2） ・歳末助け合い運動街頭募金（12/1、12/2）		
その他		
粕江市社会福祉法人連絡会への参画 市内7つの社会福祉法人が加盟（平成29年度発足） ○福祉なんでも相談 福祉に関する相談窓口「福祉なんでも相談」を加盟7法人で開設 ○フードドライブ事業への協力 加盟7法人11事業所（1/9～1/23）で回収した食品156.3kgをNP0フードバンク粕江に寄贈した。		
実習生受入れ		
ソーシャルワーク実習（法政大学） 1名（9月11日から実施）【1名】		